



すこやかに
とばっこげんきっ!

おみらむい 絵

vol.199

6月18日は父の日です。普段は照れくさい...とうかたもこの機会に日頃の感謝を伝えてみるのもいいかもしれませんね。



河村 けい 慧 くん

令和4年5月22日生まれ (池上町)

にいちゃんと仲良く
元気にすくすく育ててね♡

KIDS PHOTOGRAPH
やんちゃっこ
あまえっこ

満1歳になる元気なお子さんの写真(デジタル画像可)に25文字以内のコメントを添えて、広報情報係へお送りください。メールでも受け付けています。

☒ koho@city.toba.lg.jp



結城 なぎ 凧 ちゃん

令和4年5月22日生まれ (池上町)

優しいお兄ちゃんと仲良く、
毎日元気に過ごそうね♡



辻 りの 梨希 ちゃん

令和4年3月3日生まれ (石鏡町)

いつも笑顔で、のびのびと
健やかに育ちますように☆

キーワード
#旅館で子ども食堂
#地域共生社会

全国で実施される子ども食堂はおよそ7300か所、前年度よりも約1300か所増加したというニュースがありました(2023年2月)。全国の小学校が約2万校、中学校は約1万校、児童館は約4000か所であることを考えると、子ども食堂の社会的な価値を改めて感じます。この傾向は鳥羽市でも同様で、地域・子ども食堂の開催や食料品などを提供するフードパントリー企画は年々盛り上がっています。そして喜ばしいことに、開催の実施・関係者は必ずしも福祉を主体とする団体やグループばかりではありません。民間の飲食店による食事の提供や地元の高校を会場とする企画、シェアスペースを活用した企画など、さまざまな新しい展開も見られてきています。

また令和5年3月には、観光地である鳥羽らしいカタチとして、旅館を会場とした子ども食堂も企画されました。その旅館企画では、鳥羽市の幼児・児童とその保護者を対象とし、お弁当の提供と食事スペース、大浴場、子どもたちが遊べるプレイルームが解放されました。特別なモノを準備するのではなく、旅館が既に持ち合わせている「強み」を活かしたとても素敵なお子ども食堂でした。子ども食堂には、子どもの貧困対策という側面がありますが、「地域交流拠点」となるという別の側面もあります。

今回のように、鳥羽の魅力ある観光資源の旅館などが、その強みを活かして福祉とならば、鳥羽の魅力はもっと輝いていくと感じました。



とばびと
活躍
プロジェクト

トバゴト

Vol.22



トバゴトQRコード

健康福祉課長寿介護係
(生活支援コーディネーター 杉浦徹)

☎ 1186